

## あい演芸まつり



### 羽ばたけ若人 明るい未来へ

(3月1日、オドデ塾ふれあい演芸まつり＝関連記事 26頁)

主な内容

五枚橋村長の所信表明演述……………	2～11	叙勲受章記念祝賀会……………	16
27年度当初予算……………	12～13	新企画「友達の輪」「元気スマイル」……………	19
受診しよう、胃がん検診……………	14～15	オドデ塾ふれあい演芸まつり……………	26

今年  
は  
村  
政  
60  
周  
年

# 共に育む

# 『協働の力』

第1回村議会定例会は3月2日から16日までの15日間、役場本会議場で開かれました。

議会で五枚橋久夫村長は「九戸村政60周年という記念すべき年にあたり、皆さまの思いを村政運営に生かしていきたい」と所信を述べ、村づくり全般にわたる基本的な考えと主な施策を明らかにしました。ここでは、村長の所信表明演述の内容を紹介します。(2／11頁)



協働の力を支援すると、所信を述べる五枚橋久夫村長

## ① 産業の創出 魅力ある農林業の振興

まず農業振興について申し上げます。本年は農政改革2年目に入るわけでありますが、昨年を振り返ってみますと新設された農地中間管理事業においては、9件9万5545㎡の集積実績であり、多面的機能支払交付金では18組織に対し3203万8929円を交付したところであります。初年度としてはおおむね順調に事業推進が図られたものと考えているところであり、新年度においてもさらに制度の周知等を図りながら事業を推進し、農業者の所得向上につなげてまいりたいと考えております。

「第三期・中山間地域等直接支払制度」についても、まず農業振興について申し上げます。農地中間管理事業の推進については、農業者の所得向上につなげてまいりたいと考えております。また、農地中間管理事業の推進については、農業者の所得向上につなげてまいりたいと考えております。

農業者の所得向上につなげてまいりたいと考えております。また、農地中間管理事業の推進については、農業者の所得向上につなげてまいりたいと考えております。



関係機関と一体となり単収向上を目指します

べき姿」の実現に向け、村農業再生協議会を中心として、生産調整方針作成者としてこれに参加する農業者が主体的に米の需給調整に取り組んできたところがございます。このことにより、昨年、経営所得安定対策制度を活用しながら、生産数量目標を達成することができたところがあります。また、平成27年産米生産数量目標は、約1713ト、面積換算で338畝となり、前年度と比較すると面積換算値で5畝の減となります。

また、水田のフル活用と米政策の見直しにおいては、平成26年度から飼料用米への数量払いが導入されたところではありますが、本村農業者の技術水準の高さから昨年は平均反収58kgとなり基準値を58kg上回る結果となったところでございます。このようなことから、飼料用米の作付けが平成26年度に比して約35畝増の95畝となる見込みであります。農業者の所得確保のため、関係機関と一体となり単収向上を目指し肥培管理指導等に努めてまいりたいと考えております。

園芸振興についてであります。昨年も、春から夏にかけての少雨そして8月の長雨等自然条件は非常に厳しかったところでございます。

このような中で、ピーマンと人参は前年並みになったものの、トマトとネギにあつては対前年約80%を下回る販売額になり、総じて厳しい年であったと認識しているところであります。

新年度においても、九戸村園芸産地確立サポートセンターを核として関係機関と連携しながら、栽培指導体制を強化し、優良産地化と魅力ある安定した農業経営



強い農業づくりを支援します

を確立するため取り組みます。トマトについては作付け農家の増加を見込み、強い農業づくり推進事業の導入により、JAで整備を計画している選果場の整備に対しても支援をまいりたいと考えております。

花卉についても販売額で対前年846万9千円の減となり厳しい年でありましたが、主力であるリンドウの新植支援等を推進しながら振興を図ってまいりたいと考えております。

葉たばこも販売額で前年を826万円下回ったところでありますが、新年度においても省力化機械の導入や後継者の育成支援等を推進し振興してまいりたいと

考えております。

次に草地における東京電力原子力発電所事故による除染作業であります。新年度においても8農家、197畝で更新を予定しているところであり、優良な粗飼料確保に対し支援してまいりたいと考えております。

また、村営戸田牧野の運営であります。飼養管理の徹底を図り適切な運営に努めてまいりたいと考えております。

2つ目に林業振興について、でございます。

村の面積の75%を占める森林は、本村における貴重な資源となっておりますが、国産材の利用率の低下や木材価格の長期低迷により、林業経営の採算性は著しく悪化しております。

国では、森林法を改正し、森林・林業の再生に向けた施策を進めておりますが、村といたしましても森林組合等と連携しながら補助事業採択の基となる、森林所有者による「森林経営計画」の策定に関して、これまで

と同様に継続して支援してまいりたいと考えております。

また、今後も森林組合や村の林業実行組合等と十分協議しながら、森林の整備を推進するとともに、有効な事業導入により林業の再生と森林所有者の負担軽減を図ってまいりたいと考えております。

林道の維持については、砂利敷き等既存の林道の適切な管理に努めてまいります。折爪岳線については、村管理の林道ではあります。その復旧修繕には膨大な工費を要すると思われるため、県代行による施工を強く要望していたところ、県の特段のご配慮により、県代行による工事施工が決定されたところでございます。

3つ目として、商工業の振興について、でございます。消費税10%の導入は延期されたところであり、全体として景気は緩やかな回復基調が持続していると言われております。しかし、

地方における世帯支出を見ますと、実収入の伸び悩みから低迷しているとされ、本村もその例外ではないと感じております。一昨年に続き昨年も村外から進出した小売関連業者があり、本村小売業は、依然として厳しい経営を余儀なくされていると認識しております。

そのため、新年度も「中小企業金融対策利子補給事業」を継続しながら、村が購入する物品、発注する工事はできるだけ地元業者を優先するとともに各種祝い金や住宅リフォーム助成事業、太陽光パネルの設置助成事業など、個人向けの給付金や補助金には、「九戸村共通商品券」を活用してま



太陽光パネルの設置助成を継続

いります。また、お休みどころ「んだ・なす」や「街の駅 まさざね館」を活用した商店街のにぎわい創出のため、商工会の活動を継続支援してまいります。

さらに、平成26年度から始めた「新卒者ふるさと雇用支援奨励金制度」を生かして、新卒者の雇用拡大と地元への若者定着を促進してまいりたいと考えております。

これらに加えまして、商店街の活性化に向けたてこ入れ策として「プレミアム商品券発行事業」を拡充充実した形で実施してまいります。

また、九戸村商工会が国



伊保内商店街の街路灯LED化へ助成

の商店街まちづくり事業を活用して実施する「九戸村商店街安全安心施設整備事業（街路灯LED化整備事業）」に対して、村からも助成することとしております。

4つ目として、企業誘致について、でございます。企業は地方への進出よりも海外を選択する傾向が続いており、残念ながら平成26年度も、新規立地した企業はありませんでした。

しかし、若者の定住を考えますと雇用の場はどうしても必要であることから、立地条件の優位性と立地企業への支援制度をPRしながら、引き続き企業誘致に向けて努力してまいります。

また、誘致するだけではなく、村に定着している地場企業の業務拡張を支援し、そこに働く方々の生活環境の整備を図ることも重要でございます。先の新卒者ふるさと雇用支援奨励金を始め販路の拡大や農産物を主体とした原料の調達などを通じ、村としてできることを実施してまいります。

5つ目に、観光振興について、でございます。一昨年は「あまちゃん」人気の波及効果により、オドデ館の売り上げが、前年対比で19・7%増加するなど好調な動きを見せました。平成26年度においても、一昨年との対比では16・7%の増加となっておりまして、「あまちゃん」効果の縮小を最小限に抑えることができたものと思っております。

新年度におきましても、いわゆる「あまロス」によるマイナスの影響を食い止めるために、リピーターの確保対策として受け入れ態勢の整備や観光メニューの充実を図り、本村の代表的な観光資源である折爪岳の自然環境を生かした観光イベントの誘致に努めるとともに、ヒメボタル観賞に訪れる観光客のために駐車場を整備したいと考えております。今後の観光振興に向け、県や関係機関、さらには沿岸地域と連携しながら誘客活動を進めてまいります。



折爪岳の自然環境を活用していきます

す。

さらに、平成26年7月から放送を開始しております震災等緊急雇用対応事業を活用した「政実くのへFM」につきましても、九戸村観光情報発信事業として位置づけて引き続き取り組みたいと考えているところでございます。放送を開始して以来、村内外から良い意味でのさまざまな反響があるようでございますので、今後における観光振興および地域振興につなげるためにも、地元の身近な話題を中心に取り上げていただき、村の持つ魅力を広くPRするとともに、村民と一体となった情報発信基盤にしていきたいと考えております。



ては、障害者総合支援法の施行に伴い、障がい者の定義に難病患者が追加されましたが、平成27年1月からは、対象となる疾病が130から151へと拡大され、障がい者手帳の有無に関わらず必要に応じた障がい福祉サービス等を利用できるようにになりました。村といたしましても障がい者支援体制の確立や法律の円滑な施行に努めてまいります。

また、地域活動支援センター「エール」の活動支援自立支援給付費や高齢者・障がい者にやさしい住まいづくり事業、あるいは村単独で実施する助成事業により、引き続き障がい者の生活を支援してまいります。

4つ目は、高齢者福祉の充実について、でございます。

本村の高齢化率は、本年1月末現在、36・7%と昨年同時期(35・9%)と比べて、0・8ポイント上昇しております。加齢による身体機能の低下を予防するた



高齢者福祉の充実を図る

めの対策として、「介護予防教室」や水中ウォーキング事業、生きがいデイサービス事業など、さまざまな支援事業を実施しております。今後も引き続き、高齢者のニーズに応じた事業を実施してまいります。

また、地域包括支援センターを中心に、高齢者のニーズや状態の変化に応じ、切れ目なく必要なサービスが提供される「地域包括ケア」や、介護度が重症化しないよう「予防重視型」の介護予防に努めてまいります。

あつたか生活支援事業として、高齢者のみの世帯をはじめ、生活弱者といわれる皆さまの冬季間の経済的負担軽減を図るための生活支援と福祉の増進、併せて

村内消費拡大を目的として、新年度においても村共通商品券の年内支給を考えております。

5つ目は、地域福祉の充実について、でございます。

地域において村民が安心して暮らせるよう、地域住民やボランティア、行政・関係機関、社会福祉関係者が協力して地域社会の福祉課題の解決に取り組むことが大切であると考え、それぞれの関係者が協働して実践できるよう努めてまいります。現在社会福祉協議会に委託実施しております「いきいきふれあい集会」、「子育てサロン」、「配食サービス」、「移送サービス」は、若者世代の子育て支援や高齢世帯の生活支援、生きが

いづくりの観点からも有益であることから、今後も継続してまいりたいと考えております。低所得者対策といたしましては、生活保護制度の活用、生活福祉資金の貸付等状況に応じた援護をいたします。災害時における避難支援につきましては、要援護者の個別計画、要援護者台帳整備を民生委員、地域住民、福祉関係者の協力を得ながら継続し、災害時において最も重要となる初動体制の構築を図ってまいります。



子育てサロンなど子育て支援を継続

一人暮らしの高齢者や障がい者対策といたしましては、地域包括支援センターを中心に民生委員、ボランティア団体等の協力や関係機関の指導を仰ぎながら見

守りを継続してまいりたいと思えます。現代社会におきましては、少子高齢化や虐待、引きこもりなど新たな課題の出現により、福祉を取り巻く状況も複雑・多様化してきております。地域に暮らす人たちが支え合い、助け合っていく互助精神の醸成が安心につながります。これらを総括しながら、村民のニーズに合った地域福祉計画を早期に策定するよう努めてまいります。

### ③教育・文化の充実 心豊かな村民を育む

激しい社会の変化の中で、村の未来を開き、たくましく生き抜く力を育てるのが教育の責務であります。過日行われました岩手県教育振興運動50周年記念式典で、

伊保内高等学校の生徒が九戸村地域子ども読書会について発表しました。発表した生徒の姿に岩手県の教育を支えてきた教育振興運動の成果が表れていると、多

くの方々から評価をいただき、本村の教育力と教育の質の高さを感じたところがございます。今、教育界は、大きな変革の中にあります。こういう時こそ、今まで以上に家庭・地域・教育関係者が連携し、活力と潤いに満ちた村づくりのために、知・徳・体の調和がとれ、創造性に富み、広い視野で社会の変化に対応できる能力と行動力を持つ人間性豊かな村民の育成に努めていかなければならないと考えます。その方策を以下6点にまとめ、説明いたします。

1つ目の学校教育の充実について、でございます。

学校、家庭、地域、学校評議員など学校関係者の協働によるPDCAサイクル（教育活動を評価し、継続的に改善する）を生かした、目標達成型の学校経営を一層推進し、子どもたちの育ちを共有してまいります。

また、今後の学校運営につきましても、教育の質の確保の面から、小規模校の長所を生かしながらも、集団の中で切磋琢磨しながら

問題解決能力や社会性、規範性を育成するために、4年生以上によるナインズ学習を拡大実施します。今後の望ましい教育環境の在り方については、教育制度の改革や今後の学習指導要領改定の動向を十分見極めながら、中・長期的な見通しの下に検討してまいります。

学力向上については、岩手県教育委員会指定「小中高サポーター推進事業」により、各学年の指導が確実に行われる「欠落のない定着する指導」や小学校間の共通の取り組みを大切にする「落差のない指導」や中一ギャップなど学校間の違いによる戸惑いをなくする「段差のない円滑な指導」を進め、本村の学力課題で



学力向上に努めます

ある問題解決能力の育成に努めます。教員の探求型の授業構想力向上のため、先進校視察や教育実践者招聘による研究会を実施いたします。また、家庭・地域との協力により、メディアの適切な対応の仕方を含む子どもたちの生活習慣等を見直し、授業と連動する家庭学習や生涯学び続ける学習習慣の育成に努めてまいります。さらには、子どもたちが夢と志を持ち、将来に向けて挑戦し続けるキャリア教育のより一層の充実のため、村内の各企業のご協力による職場体験の実施や個々の能力・適性に応じた教育が行われるよう特別支援教育支援員や適応支援相談員を配置し学校生活の安定を図ってまいります。

2つ目の社会教育と生涯学習の充実について、でございます。

教育振興運動については、全県共通課題の家庭学習と読書の他に、メディアとの上手な付き合い方や体力向上等を取り入れた各実践区



読書活動を推進します

の特色を生かした活動を支援してまいります。

生涯学習の推進については、各種学級や講座の開設や読書環境を整え、誰でもいつでも学習できる環境づくりに努めてまいります。特に、子どもたちが村内の自然や人や文化等に触れる豊かな体験活動を土曜日や長期休業中に実施してまいります。

全ての村民が生涯にわたって明るく豊かな生活を送るため「村民一人一つのスポーツ」をスロガンとし、「希望郷いわて国体」の開催機運の醸成と併せ、日常的な健康・体力づくりを奨励してまいります。また、学校

体育団体と連携を深め、レクのスポーツ活動の推進や

各競技団体主催の歴史ある各種大会を支援してまいります。

3つ目の文化芸術の振興について、でございます。

村民の文化活動の成果の発表や優れた芸術の鑑賞機会の提供に努めるとともに、各種文化団体の自主的な活動を支援し、生活に潤いと充実感をもたらすような文化活動を一層推進してまいります。来年度は、各地域に営々と築き上げられてきた伝統芸能発表交流の場を設け、先人の知恵と思いに触れ、郷土の優れた文化や歴史を再確認してまいります。

県指定黒山の昔穴遺跡付近で発見した多くの穴遺跡の年代特定を進め、県指定の拡大や国の史跡指定に向けて調査事業を継続してまいります。

また、村の歴史や文化や地域の宝を再発見するとともに、その貴重な資料を旧宇堂口小学校に保管・保存し、村民の学び場となるよう計画的に整備してまいります。

4つ目に教育環境設備の充実について、でございます。

子供たちと村民の皆様が安心・安全な場で学び活動できるよう計画的に施設設備の修繕・維持に努めてまいります。新年度は、全小學校に教職員用のパソコンを導入し、業務の効率化を図るとともに、子供たちと向き合う時間の確保に努めます。また、野球場やその周辺を整備し希望郷岩手国体に向けて万全を期してまいります。

5つ目は、伊保内高等学校の存続について、でございます。



伊保内高等学校の存続を要望していきます

本村のみならず、県内・二戸管内とも生徒数が減少し、定員確保が非常に難しい状況にあります。先般発表された志願状況によりますと定員80名に対して38名の志願者となり1学級に満たない非常に残念な状況にあります。伊保内高等学校は、村の高等教育発祥の地であり、学校教育文化の源であります。九戸村地域子ども読書会、弓道をはじめとする全国大会での活躍など、岩手の高校教育の原点ともいえる魅力ある活動を進めて、多くの有意な人材を輩出し、村づくりに大きく貢献してきたところであります。今後の生徒数の推移を考えると、現制度での教育の質の確保には困難が予想されますが、関係機関と十分連携を図りながら、第二次県立高等学校整備計画に伊保内高等学校の存続と小規模校の特質を生かし一人一人に行き届いた教育施策が反映されるよう強く要望してまいります。

6つ目は、国際交流事業

について、でございます。

国際的視野を持った将来を担う人材育成の一環として実施しております青少年海外派遣事業の継続により、国際教育をさらに推進してまいりたいと考えております。これまで約1000人の中高生等が英国を訪問し、日本文化や村の伝統を伝え、相互に交流を深めることにより親善を図っており、世界的視野を持った青少年が育成されたものと考えております。

昨年10月には平成12年から交流を続けております英国のドラーアカデミー派遣団が10年ぶりに来村いたしました。遠く離れた国の中高生が互いの生活や文化の違いを理解し、視野を広げる良い機会になったものと思っております。

今後におきましても、ドラーアカデミーとの交流を深めるとともに、国際交流協会をはじめ村民の皆さまのご理解とご協力により、国際的理解を促し、多文化共生社会の実現に向け、その一翼を担うよう努めてま

いりたいと考えております。

以上、基本的な考え方と教育施策の概要について申し上げます。教育は、人づくりであり、村づくりは

## ④ 環境の保全 美しい自然をいつまでも

快適で住みよい生活環境創造のため、循環型社会の形成が求められております。このため、「リデュース・リユース・リサイクル」の3R運動等行っておりますが、残念ながらごみの収集処理量は全体では微増傾向に、一人当たりでも増加している現状となっております。

ごみ問題は、日常生活に密接に関わる重要な問題であり、ごみの総重量の約40%を占める生ごみを減量することが、ごみ全体の減量化につながることから、新年度においても引き続き生ごみ電動処理機とコンポストへの助成制度を継続してまいります。併せてその取り扱いの講習会も実施することとしております。ま



3R運動を行い、ごみの減量化を図る

人づくりであります。全ての村民が生涯学び続ける環境づくりを進め、小さくとも活力と笑顔溢れる幸せの郷づくりを支えるよう教育力向上に努めてまいります。

た、古着の回収については、回収容器を村内3カ所に常設して、村民の皆さまが取り組みやすい態勢を整えたいと考えております。今後におきましても、村民一人一人の取り組みとご協力の下に、さらなるごみの減量化に努めてまいります。

また、岩手北部広域環境組合に関する諸課題につきましては、真摯に対応して

まいりたいと考えております。

さらに、村では村民が身近に楽しめる憩いの場、都市住民との交流の場としてコロボックルランドや農村

## 5 快適で安全な地域づくり 暮らしやすい村を目指して

まず、人・生活・経済を結ぶネットワーク交通網の整備について、でございます。

村内の道路は、一部の村道や生活道にはいまだ整備が必要な路線が残っておりますので、今後とも地域経済あるいは、住民生活に密着した道路網の整備に努めてまいりたいと考えております。

平成27年度におきましては、村道整備として、田代石神田線他4路線の改良舗装工事を実施してまいりたいと考えております。次に橋梁・河川の整備であります。河川の氾濫防止のための河川形状の検討、並びに平成25年度から実施している橋梁の

公園等を整備してまいりました。今後におきましても、この豊かな自然を守りながら、村民が安全に楽しめるよう施設の適正な維持管理に努めてまいります。

長寿命化修繕計画に沿った橋梁の修繕工事を行い、村内の経済活動の基礎となる道路網を計画的かつ効率的に実施するとともに、地区住民との協働により経費節減に努めながら、村道の維持管理に努めてまいりたいと考えております。

国道340号につきましては、泥ノ木地区は完成したところであり、山根地区



27年度完成を目指す、山根地区歩道整備

におきましても、平成27年度の完成を目指し施工中であります。長興寺地区においては、平成27年度において用地測量事務の施行予定となつております。

また、伊保内地区、長興寺地区、戸田地区の歩道が設置されていない箇所につきましては、引き続き早期事業採択に向けて国・県へ強く働きかけてまいりたいと考えております。

2つ目に、定住者拡大に向けた住宅整備の推進について、でございます。

住宅につきましては、若者を対象とした定住促進住宅の整備を、平成22年度より実施しているところであり、戸田地区3棟、山根地区5棟、伊保内地区4棟、江刺家地区6棟の全体で18棟の整備が完了したところであり、新年度においても、引き続き若者定住促進住宅2戸の建設を予定しているところであり、若者の定住に向け意を払ってまいりたいと考えております。

また、一般公営住宅につ

いては、老朽化している住宅もあるため、引き続き入居者にやさしい環境整備推進のため、維持修繕に意を払いながら、良質で安全な住宅提供に努めてまいりたいと考えております。

住宅用の太陽光発電システム設置に対する補助につきましては、引き続き新年度予算に計上しており、住宅リフォーム助成や住宅新築助成とは別枠でご利用いただき、居住環境の向上および村内商工業者の活性化を図つてまいります。

3つ目は、暮らしやすい生活を支える機能・施設の充実について、でございます。

地域の環境保全に貢献し、快適な生活を支える汚水処理事業については、公共下水道、合併処理浄化槽を合わせますと、本年度末での普及率が66・9%に達する見込みです。今後も普及・促進に努め接続率向上を図つてまいりたいと考えております。

衛生的な生活を支える上



上下水道の接続率向上を図ります

水道事業については、引き続き施設の改善を進め、安全で安定した水の供給に努めてまいります。また、地理的条件等により、これまで上水道の整備が遅れている地域の飲料水確保対策の補助事業を継続して実施してまいりたいと考えております。

4つ目に、交通安全対策について、でございます。

悲惨な交通事故の根絶に向けて、人間優先の交通安全思想の下各施策を推進していく必要がございます。

これまで、春・秋の全国交通安全運動には、黄色い羽根の配布と街頭指導や、交通指導員による交通事故防止広報活動の実施、8月

にはお盆の帰省客に対し、交通安全を直接ドライバーに呼び掛ける「目覚まし純情運転作戦」など、さまざまな交通安全活動を展開しております。

新年度におきましても、交通安全協会九戸分会や交通指導隊を始め、その他各種団体等とも協力しながら交通安全の啓蒙活動や安全対策を講じるとともに、交通死亡事故防止や飲酒運転根絶に向けた取り組みを強化してまいります。

5つ目には、防犯対策について、でございます。

「犯罪のない明るく住みよい地域社会」を実現することは、住民共通の願いであると思います。村では警察や防犯協会、青少年問題協議会、学警連等と連携して住民の防犯思想・安全意識の高揚を図るとともに、二戸警察署九戸駐在所と連携した地域安全推進隊の定期的なパトロール等を通じて、青少年の健全育成や風俗環境の浄化に努めてきたところであり、今後とも地域住

民の安全確保におお一層努力してまいります。



防災無線のデジタル化工事に着手します

6つ目に、消防防災について、でございます。

火災や各種の災害の危険から住民の生命、身体および財産を保護する消防防災行政は、最も基本的で、かつ重要な活動でございます。現在、二戸広域消防九戸分署の常備消防とともに、消防防災活動の中核を担っている九戸村消防団の役割は、ますます重要になっていくものと考えております。

新年度におきましては、団員数の減少等による消防力低下への懸念を払拭するために、消防活動の補完的役割を担う機能別団員制度を導入したいと考えており

ます。また、二戸広域消防本部の移転新築に伴い発生した防災無線のデジタル化工事に着手するほか、小型動力ポンプ1台の更新が計画されております。防災無線のデジタル化工事につきましては、全ての工事が完了するまでには3年程度の期間を要するものと考えております。今後も団員の皆さまが活動しやすいように、消防施設・機械器具の整備、充実を進めてまいります。

また、防災対策上の観点から、平成25年度から「公共施設再生可能エネルギー等設備整備事業」を導入し、避難所として指定している主な公共施設に、太陽光発電システムを設置すること



太陽光発電を山根、長興寺小学校に設置予定

にしておりますが、新年度は山根、長興寺の各小学校を対象に実施することにしております。

7つ目に、情報化推進事業について、でございます。

平成22年度整備のインターネット光回線の活用が今後の課題と認識し、村の情報配信の整備を進め、また行政サービスの情報化等により生活の充実を図ってまいります。光回線は都市と地方の情報格差の解消が実現されるため、ビジネスチャンス創出の環境整備に努め、地域活性化を目指してまいります。

最後に、消費者対策の充実に ついて、でございます。

近年、消費生活相談の内容は、若年層による携帯電話

話の利用に関するトラブルや、高齢者をターゲットにした悪質な詐欺や訪問販売等の被害などさまざまな年齢層にわたっており、年々その手口も巧妙になってきております。村では、被害の未然防止のために、消費者行政活性化基金を活用した啓発物品の配布を行い、消費者の安全と安心の確保に対する呼び掛けを行ってまいりました。これからも

基金を活用した事業、村広報やホームページ等による情報提供を行い、岩手県立県民生活センターおよび二戸消費者生活センターの連携体制により、迅速な解決に努め、村民の皆さまが安全・安心に暮らせる地域社会づくりを目指して、継続して消費者行政に取り組んでまいります。

## ⑥ みんなでつくる協働の村

村民と行政がそれぞれの役割と責任を持って、地域社会における課題を解決する協働の仕組みづくりと

住民参画による地域コミュニティ活動の充実と地域活性化への取り組みを支援してまいります。



地域コミュニティの活性化を推進

そのため、協働の村づくりを推進するための基本原則や役割分担などを定めた「協働のむらづくり指針」に基づき、村民の皆さまと共に協働による村づくりを推進してまいります。

また、本村には優れた地域活動を行っている自治会もごございますので、そうした自治会から学びながら、住みやすい集落づくりや災害時の助け合いなど相互扶助の体制づくりを進めるとともに、村職員からなる地域サポーターの活用等により地域の要望を十分に反映させた自治会支援ができるよう、各種補助事業への取り組みなどを行いながら地域の活性化に努めてまいります。

従来から行ってきた「住みたくなる地域づくり活動補助金」事業の推進におきましても、世帯数による定額分を加えて、より充実した補助金としておりますが、新年度においてもこれを継続し、併せて「集落環境整備事業補助金」の活用を促進することによりまして、明るく活力ある協働の村づくりを一層推進してまいります。また、従来からの補助金のほかに地域コミュニティの活性化を図るために、平成26年度に導入した地域コミュニティ活動助成事業につきましても、地域の皆さまから活用していただけるよう努めてまいります。

さらに、自治会活動の核となる集落センターの整備および修繕について、今後とも支援してまいります。

次に、男女共同参画社会の形成について、でございます。全ての人があらゆる分野とともに参画できる村づくりを進めるためにも、男性のみならず女性の意見も十分に反映されるよう取



男女共同参画社会の実現に向け意識を高めます

り組んでまいりたいと考えております。これまでも女性団体等への支援あるいは研修機会の提供などに努めてまいりましたが、さらに社会教育の充実を図って、生涯にわたる自主的な学習活動や自らの意思に基づく社会教育活動の推進とともに、男女共同参画サポーターを育成し、男女共同参画社会の実現に向けての意識を高めてまいりたいと考えております。

最後に、行財政改革の推進については、厳しい財政状況の中で住民サービスを維持発展させていくため、立ち止まることなく取り組んでいかなければなら

ないと考えております。平成26年度は単年度財政効果目標額1137万1千円に對し、946万6千円の経費が削減され、これまでの財政効果額は、累計で約3億7191万円となる見込みでございます。

これらの取り組みの成果を行財政改革プログラムの基準年度である平成16年度との比較で検証しますと、基準年度の起債発行残高は約56億7440万円でしたが、平成25年度決算では、ほぼ3分の2となる39億73万円余りになり、各種基金の合計額は約10億2899万円から3倍以上の36億7363万円ほどになっております。

また、この3月には、「第7次九戸村行政改革大綱」並びに具体的な実施計画である「第3次九戸村行政改革プログラム」を策定し、今後5年間の行財政改革の礎とするところであります。行財政改革は議会をはじめ村民各位のご理解とご協力により、多くの成果を上げてまいりましたが、今後

におきましても不断に無駄を排し、住民福祉の向上にまい進していかねければならないと考えております。引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

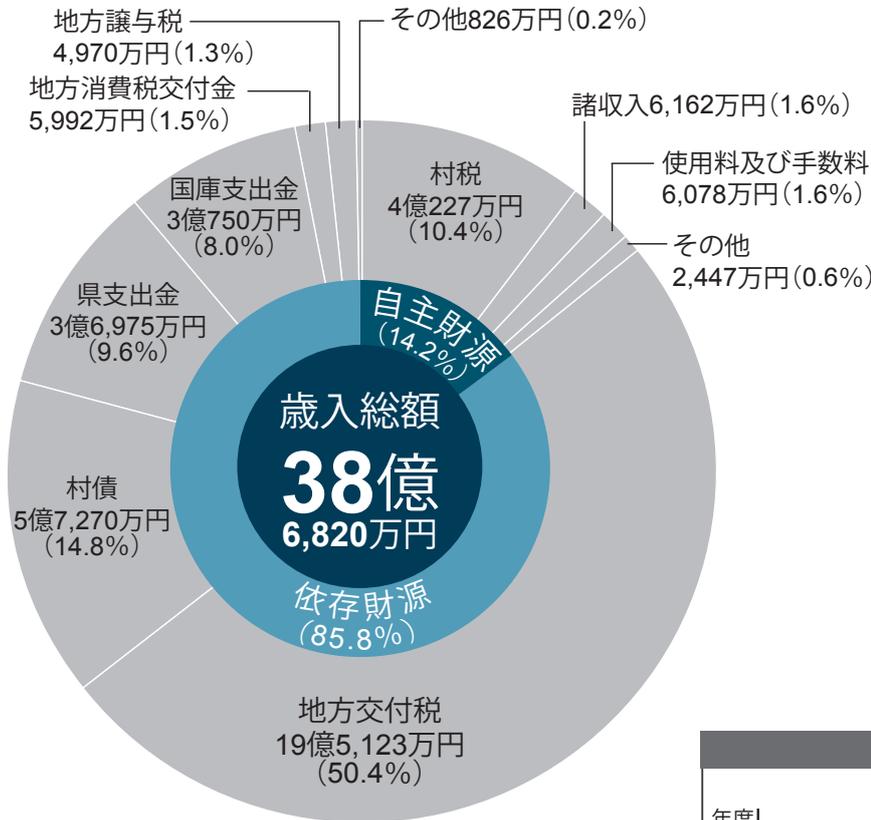
以上の通り、これからの村政運営の課題と重点施策を申し述べさせていただきましたが、常々申し上げておりますが、厳しい行財政環境の中にあっても、住民サービスの低下は許されるものではありません。住民の皆さまの協働による参画をいただきながら、暮らしの安全安心を守ってまいりますので、村民をはじめ議会の皆さまの村政に対するご協力を切に念願するものでございます。

結びに、日頃皆さまからいただいておりますご厚情に深く感謝申し上げますとともに、本議会に提出いたしました議案につきまして、ご理解賜りますようお願い申し上げます。私の所信表明とさせていただきます。

# 27年度 当初予算

## 38億6820万円

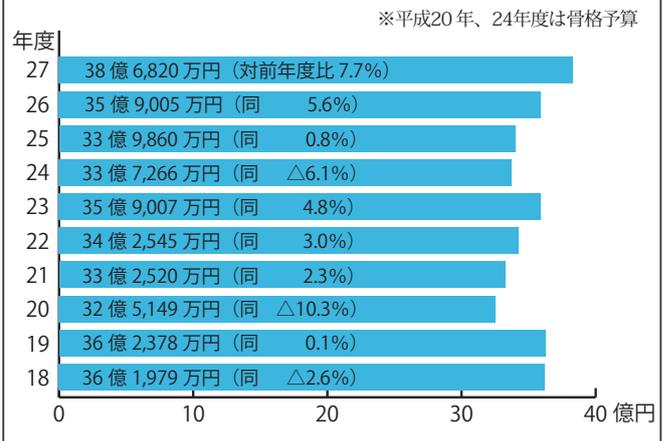
前年度比7.7%増



### 用語解説・歳入

- 【地方交付税】 財政力に応じて国から配分されるお金。
- 【村債】 村が国などから借りるお金。
- 【自主財源】 村が自主的に収入することができる財源。
- 【依存財源】 国や県から定められた額を交付される財源。

### 一般会計予算の推移



各会計別の予算と伸び率 (△はマイナス)				
会計名	平成26年度	平成27年度	伸び率	
一般会計	35億9,005万円	38億6,820万円	7.7%	
特別会計	国民健康保険	8億3,543万円	8億7,026万円	4.2%
	後期高齢者医療	5,564万円	5,462万円	△1.8%
	農業集落排水事業	2,747万円	2,910万円	5.9%
	下水道事業	1億3,920万円	1億3,795万円	△0.9%
	索道事業	1,664万円	2,520万円	51.4%
	戸田財産区	481万円	687万円	42.8%
	伊保内財産区	612万円	752万円	22.9%
水道事業	江刺家財産区	501万円	801万円	59.9%
	水道事業	1億3,663万円	1億4,036万円	2.7%
合計	48億1,700万円	51億4,809万円	6.9%	

### 村民一人当たりの…

- 予算額 621,098円 (前年度566,075円)
- 村税 64,591円 (同 63,786円)
- 借金(村債)残高 683,775円 (同 650,555円)

※数値は一般会計。人口は6,228人(平成27年2月末現在住民基本台帳人口)、村債は27年度末残高見込みで計算。

### 一般会計 7.7%増

平成27年度の一般会計当初予算は、昨年度当初予算を2億7815万円(7.7%)上回る、38億6820万円となりました。

また、一般会計に特別会計や水道事業会計を加えた総予算は51億4809万円、昨年度より3億3109万円、6.9%多くなっています。

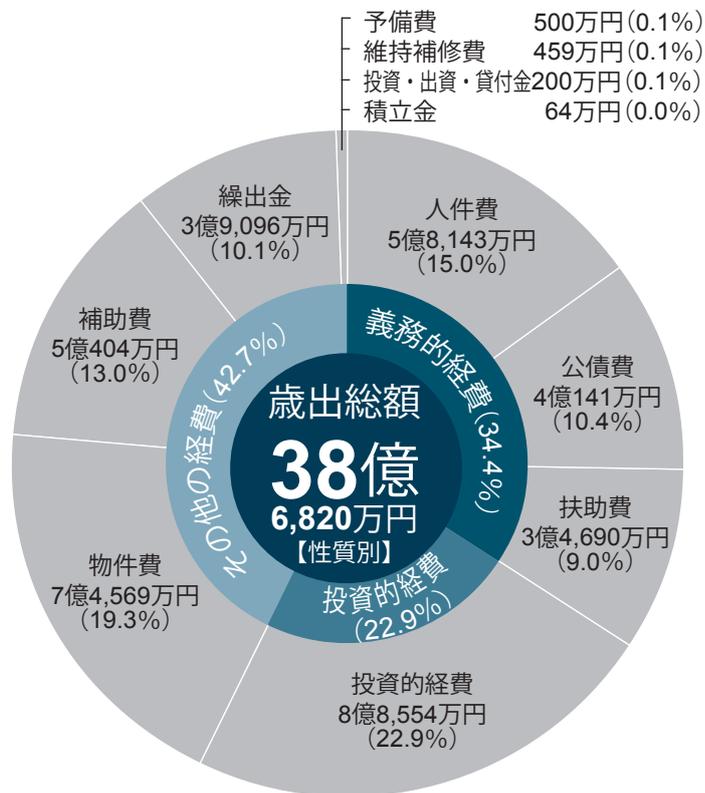
### 歳入 村債約6億円見込む

一般会計予算の歳入を見ると、地方交付税が19億5123万円、全体の50.4%(昨年度比3.0%減)を占めてトップ。次いで村債、県支出金と続きます。

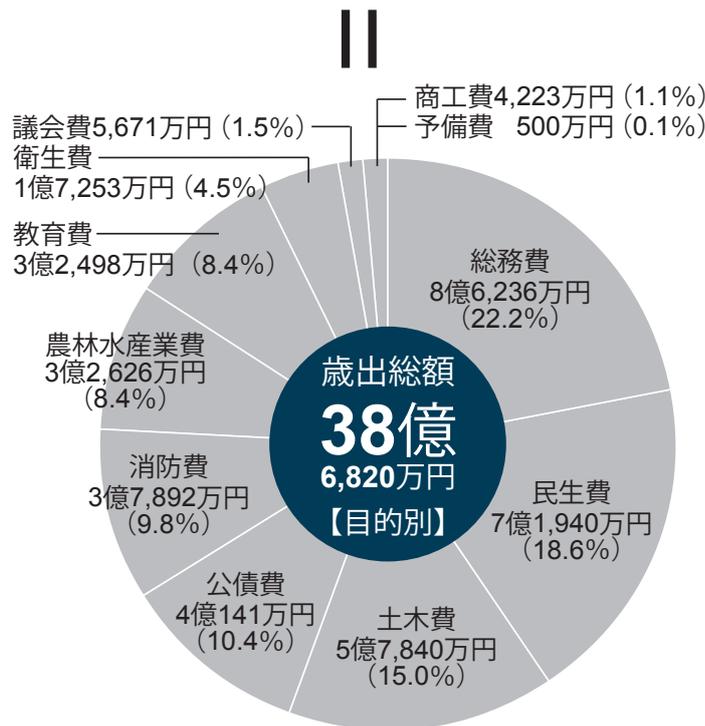
自主財源は、昨年度を894万円(1.7%)上回る5億4914万円となりました。村税は226万円(0.6%)減となっています。

依存財源は前年度より2億6921万円増加。中でも村債(33.7%増)、国庫支出金(22%増)、県支出金(10.9%増)の増加率が高く、防災行政無線のデジタル化事

主な投資的事業	
公用車購入事業	7,800万円
再生可能エネルギー等導入事業	6,500万円
九戸村工業団地流末処理事業	1,324万円
合併処理浄化槽整備事業補助金交付事業	1,026万円
いわて地域農業マスタープラン実践支援事業	1,318万円
強い農業づくり交付金事業	6,052万円
いわて型牧草地再生対策事業	766万円
農業生産基盤整備事業	560万円
農道改良整備事業	4,478万円
村道維持補修事業	3,958万円
村道新設改良事業	2億7,304万円
除雪機械購入事業	2,867万円
橋梁長寿命化修繕事業	3,097万円
定住促進住宅建設事業	5,270万円
防災無線デジタル化事業	1億2,060万円
小型動力ポンプ更新事業	179万円
小中学校ICT整備事業	1,398万円
総合運動場維持管理事業	726万円



水道事業会計予算の内訳	
◆収益的収入・支出（1年間の損益取引）	
・収入…1億4,036万円	・支出…1億4,036万円
◆資本的収入・支出（投下資本の増減に関する取引）	
・収入…775万円	・支出…5,865万円
※収入不足の5,090万円は過年度分損益勘定留保資金等で補てんされます。	



**用語解説・歳出**

【公債費】 村債（借金）の返済に充てるお金。  
【扶助費】 生活保護法、児童福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法、などの法令に基づいて支出する経費。  
【物件費】 委託料、賃金、旅費、役務費など。  
【義務的経費】 人件費や扶助費などのように、村の機能を維持していくために必ず支払わなければならない経費。  
【投資的経費】 道路の建設などのように、施設が将来に残るものに対する経費。

**歳出** 投資的経費が58%増

業や道路橋梁長寿命化事業に伴う増が主な要因です。

歳出を性質別に見ると、人件費や公債費、扶助費を合わせた義務的経費が1.6%減の13億2,974万円。これにその他の経費を加えた一般行政経費は29億8,266万円となり、前年度より1.6%減少しました。投資的経費は前年度より3億2,615万円（58.3%）多い、8億8,554万円となりました。

目的別では、総務費（住民サービスや一般事務経費）が8億6,236万円となり、全体の22.2%でトップ。次いで、民生費（福祉対策や保育園などの経費）と続きます。

前年度と比較すると、消防費が防犯行政無線のデジタル化事業費などで1億9,092万円（101.6%）、土木費が1億1,618万円（25.1%）増えています。

一方、総務費は1億3,830万円（13.8%）減っています。

# 受診しよらっ 胃がん検診

胃がんは、がんの中で最もかかりやすいがんです。しかし、早期発見をすれば経過良好で、ほぼ100%治すことができます。検診を受けて胃がんの予防、早期発見に努めましょう。

## ■検診料

1800円

※住民税非課税世帯と70歳以上（平成27年4月1日現在）の人は無料です。

## ■対象者

40歳以上（平成27年4月1日現在）

※勤務先で同検診がある場合は、勤務先で受診しましょう。

○胃がん検診を受診できない人

- 妊娠および現在妊娠している可能性がある
- 胃・十二指腸の切除手術をした
- 胃疾患で定期的に検査を受けている
- 過去にバリウムによるアレルギー反応を起こしたことがある

● これまでにバリウムを

飲んだために腸閉塞・気管支炎・肺炎および腹痛などで治療を受けたことがある

● 腎臓疾患や心臓疾患などで水分制限をしている

● 2日（検査前日、前々日）以上便通がない

## ■受診時の注意

○ 検診前日の食事は、午後8時ごろまでに済ませてください。お酒は飲まないでください。

○ 検診当日は検診終了まで絶食です。たばこは吸わないでください。（検査2時間前まではコップ1杯200ml程度の水は飲んでよいです）

## ■検診日程 受付時間：午前6時～午前8時

月日	曜日	会場	対象地区
4月13日	月	宇堂口地区農村婦人の家	瀬月内、宇堂口、泥の木
		長興寺银杏会館	長興寺下、大向
4月14日	火	村老人福祉センター	平内、妻の神、戸田上・下、戸田館の下、山根
4月15日	水	江刺家ふるさとセンター	江刺家上・下、道地
		村保健センター	荒谷、二ツ家、鹿島
4月16日	木	村保健センター	川向、南田、小倉
4月17日	金	長興寺银杏会館	長興寺上、五枚橋、荒田、雪屋
		江刺家ふるさとセンター	田代、柿の木、丸木橋、山屋、細屋
4月19日	日	村保健センター	伊保内上・下、休日希望者

※ 検診の混雑を防ぐため、地区毎に検診日を指定しています。

指定日に都合がつかない場合は、上記のいずれかの日程に受診してください。

■問い合わせ 住民生活課保健衛生班（☎ 42-2111 内線 122）



胃がん検診を受けましょう

## 村スキー選手権大会

村スキー選手権大会は2月22日、県内外から62人が出場し、村営くのへスキー場で開かれました。選手たちは練習で培った技術を生かし、積極果敢に旗門を攻めていました。本村の上位入賞者を紹介します。（敬称略）学年・所属は受賞時）

### ■小学校1・2年女子

②古館愛佳まなか（くのへジュニア）

③橋山楓香ふうか（戸田小学校）

### ■小学校1・2年男子

②福田悠斗ゆうと（くのへジュニア）

### ■小学校5・6年女子

②古館瞳花とうか（くのへジュニア）

### ■小学校5・6年男子

②古館陽音ひなと（くのへジュニア）

### ■中学校男子

①橋山翔しょう（九戸中学校）



中学校男子の部で優勝した橋山翔君

平成27年度

## 村職員の人事異動

村職員の人事異動が4月1日付で発令されました。(カッコ内は異動前の職名)

### ■課長級

▽総務企画課長 (総務企画課長補佐兼庶務財政班長) 中村学▽会計管理者兼税務会計課長兼税務徴収班長 (総務企画課長補佐兼地域振興班長) 野辺地実▽農林建設課長兼農業委員会事務局局長兼水道事業

所長 (農林建設課長補佐兼地域整備班長) 岩崎一弘▽議会事務局局長 (農林建設課長補佐兼農地農政班長) 坂下守男

### ■課長補佐級

▽総務企画課長補佐兼庶務財政班長 (総務企画課主任) 川原憲彦▽総務企画課長補佐兼

地域振興班長 (教育次長補佐兼教育総務班長) 坂野上克彦

▽農林建設課長補佐兼農地農政班長兼農業委員会事務局局長 補佐 (住民生活課主任) 浅水

渉▽農林建設課長補佐兼生産振興班長 (農林建設課主任) 中奥達也▽農林建設課長補佐

兼地域整備班長 (農林建設課主任) 関口猛彦▽教育次長補佐兼教育総務班長 (教育委員会主任) 玉川光彦▽教育委員

会主任 (税務会計課主任) 岩崎浩美▽伊保内保育園長 (ひめぼたるこども園長) 田村隆

子▽戸田保育園長 (伊保内保育園主任保育士) 橋本幸子▽ひめぼたるこども園長 (戸田保育園長) 小井田まき子

### ■主任級

▽総務企画課主任 (総務企画課主任) 小野寺さゆり▽総務企画課主任 (総務企画課主任) 大崎篤史

### ■主事級

▽総務企画課主事 (総務企画課主事補) 館伸幸▽総務企画課主事・野田村派遣 (教育委員会事務局主事) 細川勇也▽住民生活課主事 (住民生活

課主事補) 斉藤諒▽教育委員会主事 (総務企画課主事) 桂川祐太郎

### ■主事補級

▽住民生活課主事補 (農林建設課主事補) 南公太

### ■新採用

▽総務企画課主事補Ⅱ八重樫秀昭▽税務会計課主事補Ⅱ山本拓洋▽農林建設課主事補Ⅱ櫻庭和輝▽住民生活課保健師Ⅱ古館里美▽伊保内保育園保育士Ⅱ関畑梢▽ひめぼたるこども園保育士Ⅱ岩本直樹

### ■再任用

▽住民生活課Ⅱ及川洋子▽農林建設課Ⅱ小野寺正▽戸田保育園Ⅱ欠端哲代▽教育委員会Ⅱ上村勝己

### ■退職 (3月31日付)

▽晴山裕康 (総務企画課長)▽山本明彦 (会計管理者兼税務会計課長)▽大石実 (農林建設課長併任農業委員会事務局局長併任水道事業所長)▽下田沢稔 (議会事務局局長)▽及川洋子 (住民生活課保健師長)▽田村誠 (農林建設課長補佐兼生産振興班長)▽小野寺正 (公民館長補佐)▽欠端哲代 (伊保内保育園長)▽久保晴美 (税務会計課主任)

## 村青少年海外派遣事業報告会

# 夢につなげる 笑顔で報告

村青少年海外派遣事業報告会が2月23日、H O Zホールで開かれました。昨年11月6日から19日まで中学生4人と高校生4人が、英国・スコットランドにあるドラーア카데미で研修した成果を報告しました。

村青少年海外派遣事業報告会が2月23日、H O Zホールで開かれました。昨年11月6日から19日まで中学生4人と高校生4人が、英国・スコットランドにあるドラーア카데미で研修した成果を報告しました。

ケーションを取るためにピアノを弾いてみたりと自分なりに工夫。国境を越え、文化も違う場所でも、笑顔でいれば自然と楽しくなり、「Smile is Best」を学んだと喜んで発表しました。研修を終えた派遣生8人は、異国の地で貴重な体験を経験し、充実した表情を浮かべていました。



英国で学んだ成果を堂々と発表する、派遣生8人

将来、医療職を目指し

# m u r a n o w a d a i むらのわだい

皆さんからいろいろな情報をお待ちしています。  
お気軽に広報担当☎42-2111（内線168）へお寄せください。

## 叙勲受章記念祝賀会 長年の功績たたえ感謝

叙勲受章記念祝賀会が3月3日、H O Zホールで開かれました。瑞宝単光章を受章した中山武治氏、瑞宝単光章を受章した風張信三郎氏、旭日単光章を受章した故戸井口正雄氏を祝福しようと村議会議員や村消防団員など77人が出席。主催者を代表して村教育委員会の漆原一三教育長が「村政の発展に大きく貢献いただいたことに感謝します」と代理であいさつ。受章者を代表して中山武治氏が「受章の栄を賜り身に余る光栄であります。今後も陰ながら支えていきたい」と謝辞を述べました。出席者は受章者の長年の功績をたたえるとともに、さらなる活躍を応援していました。



と風張信三郎氏の代理・昭男氏（中）、故戸井口正雄氏の代理・肇氏（右）



声高らかに万歳三唱の音頭を取る、  
村農業委員会千葉一孝会長



万歳三唱で受章を祝福する参加者の  
皆さん

## 52人が九戸中学校を卒業 誇りを胸に 希望の未来へ

3月14日、九戸中学校で卒業式が行われました。今年は52人が義務教育を終え、新たな道へ一步を踏み出しました。式では、中田隆一校長が「これからも精いっぱい勉強に励んでほしい。九戸中を卒業したことを誇りに持ち、胸を張って笑顔で羽ばたいてください」と激励の言葉を述べました。中田校長から卒業証書が一人一人に手渡され、旅立ちの門出を祝福しました。式の後には卒業生と在校生が合唱交換。夢と希望に溢れた明るい未来になることを願い、歌に乗せて応援しました。



友達や家族へ「ありがとう」と感謝する、卒園児たち

## 伊保内保育園を18人が卒園 成長した思いやりと感謝の心

伊保内保育園で3月17日、卒園式が行われました。年長組の全園児18人が卒園式を迎えました。式では欠端哲代園長から自分の顔写真の入った保育証書が贈呈。受け取った園児は、保護者へ感謝の言葉を伝えました。欠端園長は「思いやりの心や優しい心、感謝の心も育った。やればできるという気持ちを大切に、いろいろなことに挑戦してほしい」と祝福のあいさつ。卒園児と在園児が一緒になり、お別れ言葉を音楽に合わせて元気に歌いました。園児たちはたくましく成長した姿を保護者の皆さんへ披露していました。



かけがえのない仲間と共に、最後の合唱発表をする九戸中卒業生



## 高島フミさん北東北で最高位 夫と歩んだ60年が幸せ

2月22日に行われた夫婦・家族感謝の日フェスティバルの俳句部門において、高島フミさん（泥の木=81歳）が1位となる天位に輝きました。対象は北東北4県の在住者で、俳句部門には65点の応募があり、高島さんの句が最高位に選ばれました。

受賞作品は「良き伴侶 得ての幸せ 風光る」。高島さんが50代の頃、夫・故與三郎さんを思い作った作品。「夫は周囲からも慕われ、いつも笑顔でいたのが印象深い」と高島さん。地域活動など休む暇なく活躍していた愛する夫を思い、俳句を作った。受賞はもちろん、「夫と60年、共に歩んでこれで幸せ」と微笑ましい表情で答えてくれました。

最高位に輝いた俳句の前で「幸せな人生」と語る高島フミさん



叙勲受章を祝福される中山武治氏（左）



受章を祝い、たくさんの人がお祝いに駆け付けました



子どもの夢を応援する大人になろうと呼び掛ける林晶子氏（左）

## 伊高主催の教育文化講演会 失敗恐れず 夢にチャレンジ

伊保内高等学校が主催する教育文化講演会は2月26日、H O Zホールで開かれました。盛岡つなぎ温泉四季亭の専務取締役・林晶子氏を講師に迎え、夢に向かってをテーマに講演会が行われました。林氏は「新人の仲居が退治した虫を、提供した料理の上に置いたことなど」のエピソードを紹介。また、「人生の中で無駄なことなんて何もない。今の子どもたちは内気のため、厳しい言葉で指導できる親になってほしい」と話していました。

講演後には伊保内高等学校郷土芸能委員会が駆け付け、神楽演舞を披露し、会場からは大きな拍手が沸き起こっていました。

## 農業生産者の集い 労をねぎらい豊作祈願

村農業生産者の集いが2月26日、H O Zホールで開かれました。農業生産の増強と所得向上に貢献した生産者52人に表彰状が贈られました。講演会では、株式会社山清商店の前澤清氏が平成27年高島暦を使って今年の天気を予想。前澤氏は今年、春が2日遅く、秋が4日早い、冬も4日早いと予測。お盆までは暑く作物の生育が早いと予想していました。参加者は昨年の収穫へ感謝し、農繁期の労苦をねぎらうとともに、今年の豊作を祈願していました。



夏秋トマト多額生産者の部で優秀賞に輝いた松澤義美さん（中）

二戸小学生バレー卒業記念

戸田ジュニアが2連覇



2連覇を達成した戸田ジュニアバレーの皆さん

二戸小学生バレーボール卒業記念大会は3月7日、二戸市総合スポーツセンターなどで開かれ、戸田ジュニアバレーボールスポーツ少年団が優勝を果たしました。  
女子の部には本村から同少年団と江刺家ジュニアクラブの2チームが参加。14チームが出場した本大会で、同少年団は予選から1セットも落とさず、2連覇を達成しました。

河村泰輔さんがベストナイン  
日々精進し夢の日本一へ

河村泰輔さん（江刺家下 29歳）が県野球協会から、平成26年度のベストナイン・捕手に選出されました。昨年の天皇賜杯県予選では、所属する(株)阿部繁孝商店が初優勝。その功績も評価され、4回目となるベストナインに輝きました。河村さんは「目標は県大会2連覇。日々精進し、日本一の夢を叶えたい」と熱い眼差しで語ってくれました。



天皇賜杯県予選（26年7月）で初優勝したときの河村泰輔捕手

ヨガを始めませんか？

ヨガサークル「ナディ」が3月12日、HOZホールで行われました。柴田恵理子氏（二戸市）を講師に迎え、参加者6人が音楽に合わせてヨガを楽しみました。筋肉の力の入れ方や鼻呼吸の方法など意識をしながら、体を伸ばしたり縮めたりと体を動かしました。藤館里美さん（伊保内下）は「足先までポカポカして気持ちがいい」と満足そうでした。あなたもぜひヨガで健康生活を送ってみませんか？



気持ちよさそうにヨガを楽しむ参加者

■日時 毎月2回  
第2、第4木曜日  
午後7時～午後8時  
■場所 HOZホール

わが家の人気者

1歳のお誕生日おめでとう☆

細川 泰志くん

4月1日生まれ／細屋  
(父)貴史さん(母)詩織さん

「これからも元気に大きくなってね！」お父さん・お母さんより



田口 晴琉くん

4月11日生まれ／山根  
(父)淳さん(母)朋恵さん

「元気に明るく大きくなれ。」お父さん・お母さんより



橋本 千花ちゃん

4月8日生まれ／山根  
(父)祐輔さん(母)裕紀さん

「大好きなまんまたくさん食べてのびりと育ってね。」お父さん・ママより

平中 奏至くん

4月15日生まれ／荒谷  
(父)玲さん(母)幸子さん

「これからいっぱい遊びに行こうね！」お父さん・お母さんより



山下 恵莉ちゃん

4月25日生まれ／五枚橋  
(父)武信さん(母)真由美さん

「元気に育って大きくなってね。」お父さん・お母さんより

山野下 春馬くん

4月28日生まれ／江刺家上  
(父)博之さん(母)美咲さん

「強く優しい男の子になってね！」お父さん・お母さんより



◎5月に1歳を迎える赤ちゃんの写真を大募集！！  
ご希望の方は4月10日(金)までに、写真(データも可)を広報担当(☎42-2111内線168)までお持ちください。

友達の輪 ①

岩瀨 いわぶち

信毅 しのぶき  
33歳・南田



友達の輪をつなげていこうという思いで、自分の友人を紹介していくコーナーです。

岩瀨信毅さんは平成22年から役場職員として活躍。26年6月に綾子さんと結婚し新婚生活を満喫しています。

◆趣味特技は？ 18歳から約15年、DJをやっている。ヒップホップの楽曲作成などを楽しんでいる。

◆休みの日には？ 家族で買物や温泉などドライブを楽しんでいる。

◆楽しみは？ 4カ月になる晴太君の笑顔と綾子さんの愛妻弁当が楽しみ。

◆将来の夢は？ マイホームを建てて、笑顔溢れる幸せな家庭を築きたい。

むらの文芸

第323回 ● くのへ俳句会

大根の煮ゆる匂ひや寒厨かんくりや

菅野 岑子

いくつかの別れのありて年忘

人声も影も呑み込み吹雪ける

遠のいて行く面影よ春寒し

渡 赤藤

大手振る四角四面の入学児  
西の空くれないに染む里長閑さとのなが

そよ風に誘われ出て董買すみれう

朝ドラに涙腺緩む春みぞれ

高島ふみ女

母がいて話せる笑える居間うらら  
目を見つめ五分の会話のどかなり

人逝きてよりの廃屋名草の芽  
ものの芽や歩き始めしひ孫待つ

冬部 雪女

音も無く流るる月日もう弥生

先人の伝承講習木の芽風

山笑う自然豊かな九戸村

ほろ苦き世の裏も知り露つゆのとう

田村 哇畔

長閑さに誘われ池を一巡り

余寒なほ明日の手術の無事祈る

春光や退院告げられほつとする

ものの芽やこれは雑草これ花芽

櫻庭 義也

長閑など見た事もなく八十年

縄張りを持って苦勞の猫の恋

テロよりも憎き寒さや神経痛

カンジキもスポーツと化し児等遊あそぶ

元気スマイル ①

風張 かざはり  
己之松 みのまつ  
大正6年9月7日生・97歳



山根地区で最高齢となる風張己之松さん。日課の散歩は欠かしません。

山根地区で最高齢となる風張己之松さん。日課の散歩は欠かしません。

◆元気の秘けつは？ 好き嫌いせずなんでも食べる。7の付く市日には94歳ぐらいまで、自宅から約3キロを往復歩いて買物に行っていた。

◆一番の楽しみは？ 雪が解けたら畑に行つて白菜やほうれん草を育てるのが楽しみ。

◆一番の思い出は？ にぎやかな場所が好きで、毎年見ている九戸まつりや戸田かぼちやまつりに行くのが楽しみ。

もの芽にそぼ降る雨の山居かな  
山笑う声や餌くだまの響き合う

館村 青村

雪解けて天与の水に環りたる

輝いて急ぐ瀬のあり春の川

【二月席題詠より】

特殊詐欺鬼よりこわし豆つぶて

久々に笑顔の集ふ二月句座

開け放つ牛舎の窓に光る風

枯れ山にしみこむ音や春の雨

里はもう動き始めて春の雨

ひざ痛も少し柔らぎ冬終る

三世代暮らすあつたか山笑う

郵便の来ぬ日はさみし春の雨

春雨や墓石毅然と立ち並ぶ

働いて老いても農婦春を待つ

遠くより笑顔近づく春日和

(青村)

(ふみ女)

(赤藤)

(義也)

(雪女)



# 感謝と決意を胸に巣立つ

## 九戸中学校

### 3年生送る春駒の会



合唱に乗せて思いを届ける1・2年生

九戸中学校で3月11日、生徒会主催の春駒の会が開催されました。1・2年生は3年生に感謝の気持ちを伝えようと構想を練り、準備を進めてきました。1・2年生から3年生一人一人に感謝の言葉と色紙が手渡されました。1・2年生からは「卒業後もがんばれ！私たちも頑張ります」とエールが送られました。

3年生からは、「今まで協力してくれてありがとう。皆さんがいてくれたおかげで、ここまで歩



在校生に感謝の言葉を伝え、巣立っていく3年生

でくることができました。これからは自分一人一人が選んだ道を進みます。九戸中学校のますますの発展を祈ります」と、感謝と決意・激励の言葉と共にエールが送り返されました。

最後には1・2年生がアーチを組んで3年生を見送り、在校生の応援に背に、3年生52人が巣立っていきました。

(副校長 野田 寛)

## 伊保内高校

### 魅力磨き地域に貢献

校長 岩瀬 信義



一昨年度「伊保内高校は変わります」と宣言し、「主体性育成」と「学力向上」の2本柱からなる「学校活性化プラン」を立ち上げて3年目を迎えます。

これまでPTAや部活動後援会、勝手に応援する会の皆さまや地域のご協力とご理解をいただき、伊高祭や地域子ども読書会、江刺家神楽や野球部をはじめとする諸活動において内外から高い評価を得ることができました。

さらに昨年度からは文科省の指定を受け、村教育委員会と県教育委員会が連携して「学力向上」の本格的な取り組みにも着手し、本年秋にはその成果を学校公開などさまざまな方法で県内外に発信することとしております。

しかし、われわれのこうしたさまざまな取り組みが本村の中学生やその保護者に多くの支持をいただいているかといえ、必ずしもそうとは感じていません。われわれの考える「魅力」と中学生・保護者の考える「魅力」にギャップがあるのでないかと思っております。

とすれば、そのギャップを埋めない限り、真に地域にとって必要とされる学校にはなりえないと思います。そういう意味で本年度はまさにわれわれのこれまでの取り組みの成果が試される年であると同時に、ある意味でこれまで以上にきめ細かくニーズを把握し、そのニーズに応える努力が求められる年ともいえます。

本村唯一の高等学校として、また同時に地方活性化が叫ばれる今日、少しでも地域に貢献する学校としてわれわれは前進していく所存です。で、今後とも皆さまのご理解とご支援をお願いいたします。



県教振50周年記念大会で伊高生が発表

### フォルトウナの瞳

百田 尚樹 著／新潮社



その男には、見たくないものが見えた。他人の「死」が。「運命」が…。大切な人の「死」が見えたとき、あなたならどうしますか。ミリオンセラーを連発する著者が描く、人間の「運命」の物語。

### さようなら、ぼくのひみつ

漆原 智良 編著／国土社

学校は、勉強を教わったり、友達と一緒に物事を考えながら自分を成長させる楽しい場ではなくてはなりません。ところが中には誰にも言えない「悩み」を抱えている子どもたちもいるのです。この本には自分を守るためのヒントが詰まっています。



### だから荒野

桐野 夏生 著／毎日新聞社



46歳の誕生日、身勝手な夫や息子たちと決別し、主婦・朋美は1200キロの旅へと出る。彼女の行く手に待っているのは「荒野」なのか？それとも…。NHKプレミアムドラマとして1月から放送された原作品。

### ようちえんがばけますよ

内田麟太郎 作／くもん出版

100ぺん読んでも、面白い。ページをめくると、あら不思議。幼稚園がどんどん化けていきます。どこが化けたかあなたは分かるかな？



○開館時間／平日9時～19時・土日祝9時～17時  
○休館日／年末年始

## 大画面のスクリーンに釘付け

子ども映画会は2月28日、HOZホールで開かれました。この日は、たまごにいちやんとにじいろのさかなの2作品が上映され、親子12人が大画面で見る面白い映画を堪能しました。映画「にじいろのさかな」は、虹色に光り輝くうろこを持った魚が、サメに襲われるところを、勇気を持って立ち向かい、サメから命を守るといふ感動ストーリー。子どもたちはお母さんたちと一緒に釘付けで、映し出されるスクリーンに釘付けでした。



大きな画面に映し出される映画（上）に引き込まれる来場者（左）

## 自然や水に恵まれた九戸村

村生涯学習アカデミー・女性教室合同閉講式は2月24日、42人が参加し、HOZホールで開かれました。担当の細川勇也主事が1年間の事業成果を報告。「参加者に楽しんでもらうため、自分も楽しんで活動できて達成感いっぱい」と充実した表情で報告していました。政実くのへFMの支局長・村田勝義氏とパーソナリティーの久保裕美氏、新毛夏美氏が「九戸村のいいところを再発見！」をテーマに講演。九戸村は「水芭蕉など自然が豊か。瀬月内川は魚釣りができるぐらい水がきれい。郷土料理

もおいしい」など、いいところがたくさんあると紹介していました。



政実くのへFM支局長（手前）による、面白いトークを楽しむ参加者

## 「春は苦味を盛れ」

■春は冬にたまった老廃物を体の外へ出しましょう！

春は自然物が新たに芽吹く時期です。「成長」のエネルギーが最大に活発になるこの季節は、人間の体内活動も活発になり、体にたまった老廃物などの毒を体の外へ出そうとします。春になると、なんとなく疲れやすい、手足がむくむと感ずるのは、「毒」を出そうとするサインです。

春におすすめの食べ物は、旬の物、味でいうと「えぐみ」「苦味」のあるものです。

九戸村は4月といっても、まだ、

冬のような寒さになることがあるので、ビタミンCが含まれる果物や春野菜と、えぐみのある食材、「ネギ」「しょうが」を食べ、体を冷やささないようにし、風邪などをひか



### ■旬の食べ物

たけのこ、春菊、菜の花、キャベツ、サバ

### ■春の山菜

たらの芽、ふぎ、ふぎのとう、うど、わらび、よもぎ、行者にんにくなど

### ■血を補うもの（肝臓の働きを助ける）

ニンジン、ホウレンソウ、レバー（豚など）、牡蠣（新鮮な物を選ぶ）、うずらの卵など

ないようには過ごしましょう。

農作業も始まり、また、職場の環境も変わるなど無理をしがちになる時期ですが、しっかりと休養の時間を取り、自分の体のために野菜とたんぱく質（肉・魚・卵、豆類）を取り、元気に過ごしましょう。



（栄養士 高見館 ハスミ）

## 国保資格 異動したら届け出を

国民健康保険（国保）は、会社などの健康保険（協会けんぽ、健康保険組合など）や後期高齢者医療制度に加入している人、生活保護を受けている人を除く全員が加入する制度です。

就職や退職で会社などの健康保険に加入、または、離脱したときや国保に加入している人の住所や世帯主が変わったときは、役場で手続きが必要となります。

■資格取得または喪失の手続きはすぐに

他の市区町村に転出したときや会社などの健康保険に加入したとき、修学による特例や対象施設への入所による住所特例の該当要件を満たさなくなったときには、役場にその旨の「届け出」と現在持っている「国保の被保険者証」を返すこととなります。

手続きが遅れたり、忘れたりして、国保の資格が無くなってから国保を使用して保険医療機関（病院・薬局）を受診する人がいます。その場合、本来、自分が加入している保険において、その保険給付

が行われるべきですから、国保が給付した医療費を返還してもらいます。そうならないためにも、国保の資格に異動（取得・喪失・変更）が生じたときは、役場にすぐに届け出を行い、正しい被保険者証を使用しましょう。

### ■被保険者証は大切に

万が一、紛失したときには、役場の窓口へ届け出て再交付を受けてください。

### ■主な異動事由と必要書類

国保に加入するとき	持参するもの（印鑑のほかに）
転入してきた	転出証明書
会社の健康保険をやめた	会社の健康保険をやめた証明書
生活保護を受けなくなった	保護廃止決定通知書
国保をやめるとき	持参するもの（印鑑のほかに）
転出する	国保の被保険者証
会社の健康保険に加入した	国保と会社、両方の被保険者証
その他	持参するもの（印鑑のほかに）
修学のため別に住所を定める	国保の被保険者証、在学証明書
退職者医療制度の対象になった	国保の被保険者証、年金証書

## 納期内に納めよう、国民年金保険料

国民年金は、老後やもしものときにあなたの大きな支えとなります。平成27年4月から平成28年3月分までの国民年金保険料は、月額「1万5590円」です。きちんと納期内に納めましょう！

保険料は、日本年金機構から送られる納付書によって、金融機関・郵便局・コンビニで納めることができます。また、便利でお得な口

座振替もあります。

日本年金機構では、国民年金保険料を納期限までに納めていない人に対して、電話・書面・面談によって納付の勧奨を行っています。所得が少ないなど保険料の納付が困難な場合は、免除される制度や猶予される制度がありますので、役場の国民年金窓口でご相談ください。

## 消防署たより

問 二戸消防署九戸分署 ☎ 42-3119

## 伝えよう 森の大事さ 火の怖さ

### ■山火事防止運動

統一標語  
「伝えよう」

森の大事さ

火の怖さ



3月1日から5月31日まで山火事防止運動月間です。空気が乾燥し、山火事が多く発生する季節になりました。

### ■山火事防止運動重点事項

- ① たき火をしたらその場を離れず完全に消火すること。
- ② たばこの吸い殻は、必ず消すとともに、投げ捨てないこと。
- ③ 火遊びはしないこと。

村内の火災・救急（2月分）

区分	件数	1月から累計	前年比
火災	0件	0件	-2件
救急	28件	53件	-1件

## 4月6日～15日まで交通事故防止推進期間

### ■実施期間

4月6日（月）～15日（水）までの10日間

### ■推進期間の目的

新入学児童などに対する交通ルールの理解と交通マナーの習慣付けを図るとともに、運転者に対し新入学児童などの保護意識を醸成することによって、子どもの交通事故防止を図る。

### ■推進重点

- (1) 新入学児童など子どもの交通事故防止
- (2) 自乗車の安全利用の促進
- (3) 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

### 山菜採りに伴う遭難事故防止

～山の恵みよりも安全を第一～

### 山菜採りにおける注意事項

- 山に出掛ける人は、次のことに注意しましょう。
- 家族に行き先、帰宅時間を知らせ、早出、早帰りを心掛けましょう。

● 万一に備え携帯電話、食料、雨具、

懐中電灯などを持って山に入りましょう。

● 熊に出会うことも予想されまますので、笛・鈴・ラジオなど熊よけの装備をして入山しましょう。

● できるだけ2人以上で出掛け、山中では声を掛け合い、お互いに位置を確認しましょう。

● 万一遭難したら、夜間の行動はやめて翌朝まで待機しましょう。

捜索中のヘリコプターが見えたら、タオル、シャツなど目立つものを大きく振って知らせましょう。

村内の交通事故（2月分）

区分	件数	1月から累計	前年比
人身事故	1件	1件	-1件
物損事故	4件	18件	-2件
負傷者	1人	1人	-3人
死亡者	0人	0人	±0人
飲酒運転者	0人	0人	±0人

◎ 村の交通死亡事故ゼロ日数…… 142日  
(2月28日現在)



## 固定資産税縦覧帳簿 の縦覧について

平成 27 年度固定資産税縦覧帳簿  
の縦覧を行います。

■期間 4月1日(水)～30日(木)

午前8時30分～午後5時30分  
(土日祝日を除く)

■場所 役場税務会計課

■確認できる項目

【土地】所在、地番、地目、地積、  
評価額 【家屋】所在、家屋番号、  
種類、構造、床面積、評価額

■縦覧できる人 村の固定資産税  
の納税者

■必要なもの 本人の印鑑と本人  
確認できるもの(運転免許証など)

※ 代理人は所有者の委任状

■問い合わせ 税務会計課税務徴  
収班 (☎ 42-2111 内線 222)

## なにやーとで開催 合同企業説明会

平成 28 年 3 月卒業予定の学生お  
よび既卒者・U・I ターン希望者  
を対象とした二戸地域の合同企業  
説明会を開催します。

■日時 5月8日(金) 午後1時～

■場所 なにやーと

■問い合わせ 二戸公共職業安定  
所 (☎ 23-3341・田口)

### 編集後記

◆今月号から新企画が始まりました。  
皆さまが手に取っていただけるよ  
うな広報にしていきたいと思いま  
す。  
◆4月から新天地で新たなスタートを  
迎えた人も多いと思います。自分に  
甘いと自覚していますが、異動や環  
境の変化を契機に自分に厳しく他  
人に優しくできるようにしたいも  
のですね(下村)

## 求人情報

### ■社会福祉法人 九戸福祉会

①介護支援専門員兼介護職員  
(正社員以外) ②九戸村③59  
歳以下④185,000円～260,000円  
⑤普通自動車免許一種、介護  
支援専門員、試用期間6カ月

### ■九戸精密 株式会社

①製造員(正社員以外) ②九  
戸村③不問④116,480円⑤普通  
自動車免許一種、雇用期間:  
採用日～3カ月、試用期間3  
カ月

### ■大崎運輸 有限会社

①構内作業員(正社員) ②二  
戸市③64歳以下④165,600円～  
184,000円⑤普通自動車免許一  
種、試用期間3カ月

### ■小野寺商事

①養鶏作業員(正社員) ②九  
戸村など③69歳以下④144,000  
円～180,000円⑤普通自動車免  
許一種、試用期間1カ月

### ■大崎運輸 有限会社

①補鶏作業員(正社員) ②  
九戸村など③18歳～64歳④  
165,600円～184,000円⑤普通  
自動車免許一種、試用期間3カ  
月

①職種②就業場所③年齢④基本給  
⑤資格など

◎3月13日現在の求人情報から  
掲載しています。求人に関するお  
問い合わせは、ハローワーク二戸  
(☎ 23-3341)まで。求人情報は役  
場口ビーでも配布しています。

### 休日当番医 (9:00～17:00)

月	日	医療機関	電話
4	5	齋藤産婦人科医院	23-2505
	12	小原内科医院	23-3410
	19	ふくもりたこどもクリニック	43-3137
	26	藤田内科	38-2772
	29	二戸クリニック	25-5770

### 休日当番歯科医 (9:00～12:00)

月	日	医療機関	電話
4	5	阿部歯科クリニック	25-4182
	12	小野寺歯科医院	33-3050
	19	こしみず歯科クリニック	33-4618
	26	渡辺歯科医院	23-2052
	29	ムカイダ歯科クリニック	46-4636

## ごみ収集日 4月

収集区域	瀬戸内/宇堂口/泥 の木/平内/妻の神 戸田上・下/館の下 山根/荒谷/ニツ家	鹿島/伊保内上・下 川向/南田	小倉/長興寺上・下 大向/五枚橋/荒田 雪屋/田代/柿の木 江刺家上・下/道地 丸木橋/山屋/細屋
燃えるごみ	毎週水曜日	毎週木曜日	毎週金曜日
ビン・金物	4月6日(水)	4月7日(木)	4月13日(金)
空き缶	4月20日(水)	4月21日(木)	4月27日(金)
粗大ごみ	4月14日(水)		4月28日(金)
紙・プラ類	4月9日(水)	4月15日(水)	4月23日(水)

※ 指定日に、指定の袋で出しましょう。

◎住民生活課保健衛生班 ☎ 42-2111 内線 123



## 福祉活動実施団体へ 活動費の一部を助成

平成 28 年度実施を予定している  
村内福祉活動実施  
団体に一部活動費  
を助成します。



■対象団体 地域  
福祉活動実施団体（各種福祉団体、  
自治会、町内会、福祉施設など）

■対象事業 地域での高齢者見守  
り活動、見守りマップづくり、子  
育てサロン、地域の福祉活動、社  
会福祉を目的とする事業など

■募集締切 4月30日㊦

■助成の決定 審査・審議の上、  
助成が決定されます。

■申し込み・問い合わせ 村総合福  
祉センター内・村共同募金委員会、  
村社会福祉協議会（☎ 41-1200）

※申請用紙は、村総合福祉センター  
にありますので、ご相談ください。

## 天を衝くが再演 スタッフを募集

二戸市民文士劇「天を衝く」が  
再演されるに当たり、キャスト・  
スタッフを大募集します。

■開演日程

- 日時 10月3日㊦、4日㊦
- 場所 二戸市民文化会館
- 演題 「天を衝く」

■応募資格 小学校5年生以上  
（原則、近隣市町村に在住で練習・  
制作へ通うことのできる人）

■募集内容 キャスト・スタッフ  
（美術・舞台）

■応募締切 5月7日㊦

■申し込み・問い合わせ 二戸市  
民文士劇事務局（☎ 43-4250）

## 特定疾患患者 医療費を給付

村内に住所を有する特定疾患患  
者および精神障がい者に対し、医  
療費の一部を給付しています。

■対象となる人

①岩手県が実施する特定疾患医療  
費受給者証の交付を受けている人

②自立支援医療受給者証（精神通  
院）の交付を受けている人

※すでに国または地方公共団体の  
負担による医療の給付を受けてい  
る場合は対象となりません。

■給付の額

○特定疾患医療費受給者証の交付  
を受けている人

医療費の 1/2 の額

○自立支援医療受給者証（精神通  
院）の交付を受けている人

医療費の 1/2 の額

■申請に必要な書類

・特定疾患医療費受給者証または自  
立支援医療受給者証（精神通院）

・保険証 ・預金通帳 ・印鑑

・医療保険や互助組織などの付加給  
付を受けている場合は給付額が分  
かる書類

※給付対象外となる場合もありま  
すので、希望者は事前に下記へお  
問い合わせください。

■申し込み・問い合わせ 住民生活  
課地域福祉班（☎ 42-2111 内線 203）

## 政実くのへFM

4月1日から放送時間が変わります。

■日時 毎週水曜日

正午～午後0時55分

■問い合わせ エフエム岩手  
九戸支局（☎ 43-3227）

## 人のうごき

（平成27年3月1日現在）

●人口	6,228人	(-13)
男	3,019人	(-7)
女	3,209人	(-6)
●世帯数	2,179世帯	(+2)
	(カッコ内は前月比)	
転入	4人	(8人)
転出	7人	(10人)
出生	2人	(5人)
死亡	12人	(20人)
	(カッコ内は1月からの累計)	



江刺家小学校の児童有志 18人が力いっぱい「よさこいソーラン」を踊りました

## 受け継がれる地域力 舞台上で熱演

### オドデ塾演芸まつり



柔を踊る石川隆人君(左)と浅水貫太君

第21回オドデ塾ふれあい演芸まつりが3月1日、江刺家小学校体育館で行われました。セレモニーでは塾長の小松智樹さんが「これからも地域を1つにして、子どもたちを育てていきたい。今日は元気な子どもたちをご覧ください」と歓迎。

舞台では22演目の踊りや歌が披露されました。出演者は音楽に合わせて表現力豊かに演じていました。

江刺家小学校の児童有志18人によるよさこいソーランでは、わずか1カ月と少ない練習期間にもかかわらず、元気いっぱい踊り上げていました。また、



伊保内高校郷土芸能委員会が江刺家神楽を熱演

児童たちに負けてはいられないと、オドデ塾塾生と伊保内高校生徒有志が南中ソーランを披露。迫力あるパワフルな踊りを見せてくれました。

地域の要望もあり、学校コイントが5年ぶりに復活。塾生が先生と生徒7人を熱演。体を張った愉快なエンターテインメントに、会場から笑い声が上がっていました。さらに、サプライズで、塾生である細川勇也さんが彼女にステージ上で愛のプロポーズを宣言。約230人の観衆が見守る中、見事、告白が成功し、新たな夫婦が誕生しました。また、落語家の桂小文治氏

ステージ上で細川勇也さん(中央)が彼女にプロポーズし、見事大成功



が特別ゲストとして出演。身振り手振りを交えた軽快な小話、来場者を楽しませていました。

以前に塾生としても活躍していた七戸安男さん(62歳)は「地域のよさが代々受け継がれてきており、若い人たちが頑張っていて嬉しい」と喜んでいました。